

書初め席書大会

入賞
作品

1月10日に開催された「第16回金子鷗亭記念松前町児童生徒書初め席書大会」の特別賞入賞者の作品を、松前高校書道部顧問の天満谷貴之教諭からの講評とともに紹介します。

金子鷗亭賞 田中 優 (松前中2年)

桜の舞い

これぞ金子鷗亭賞と言える大変立派な作品です。よい作品の要素として、自分の顔(書き手)が見えてくる(想像したくなる)作品であることです。

田中さんの、線から滲み出る呼吸・躍動を感じさせる筆の運び、紙面をしつかり(余白)抑えた黒の強さともに見事です。将来が楽しみです。

町長賞 川原 里帆 (松前高3年)

船の緑青が揺れる
岩壁を眺めれば
波の鳥

柔らかい筆の毛を効果的に活用し、筆の開閉・文字の大小等様々な見せ場を持たせて表現しています。また、艶のある線・呼吸から運ばれる文字造形等、積み重ねてきた経験がしつかり生かされています。将来は、ぜひ、学校の先生として、未来の松前っ子たちの指導にあたってくれることを期待しています。

協議会会長賞

吉田 海奈 (小島小6年)

城下通り

吉田さんの作品で一番魅力的なところは、文字造形が美しいことです。

また、筆圧加減・墨量、細字(名前)等、とても絶妙なバランス感覚に優れているところも吉田さんの素晴らしいところでは。今回の課題は、「動きのある作品」について研究を深めてください。

審査委員長賞

安藤 麗 (松前高2年)

蓋太上有立德其
次有立功是謂

顔真卿の「争坐位文稿」を臨書したのですが、その特徴をしつかり踏まえ、また筆の開閉をしつかり効かせてリズムよく豪快に書いているところが、安藤さんの魅力でしょう。今年8月に、全国高等学校総合文化祭書道部門・高知大会に出場することが決まっています。日々の練習の成果をしつかり発揮できるように、これからも精進してください。

校長会長賞

石戸 夢梨 (松城小2年)

生

迷うことなく、一点一画をしつかり打ち込んでおり、力強く書けました。
また、文字の形も美しく整っており大変立派な作品です。最後の横線を勢いよく堂々と引けたところが今回の魅力的なところでしょう。

ライオンズクラブ賞

秋田 心夏 (松前中3年)

碑林散步

筆圧の変化を楽しみながら、抑揚のある線を効果的に活用した素晴らしい作品です。また、筆の打ち込みも強く、流れもよいです。

画数の多い作品をしつかりまとめている一つとして、文字の中の空間を潰さないことがポイントですが、秋田さんの作品は、まさにそれを体現しています。

社会教育委員長賞

堀川 真歩 (小島小4年)

美しい花

リズムに富んだ爽やかな作品の中に、堀川さんの人柄を彷彿とさせる、芯のある作品にとっても魅力を感じています。筆の打ち込みもさることながら、細部まで気持ちを切らさず、筆圧の変化をしつかり効かせて書き上げた見事な作品です。